

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	アルピコ交通株式会社					
代表者名	氏名	小林 史成	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市井川城2丁目1番1号					
主たる事業の分類	大分類	H 運輸業、郵便業				
	中分類	43 道路旅客運送業				
主たる事業の概要	鉄道事業、乗合バス事業、貸切バス事業、旅行事業、サービスエリア事業、不動産事業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	2,020	1,980	1,737	1,845	2,573
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,676	3,603	3,149	3,357	4,685
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	403	395	368	371	397
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	18,149	17,786	9,272	11,221	12,769

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

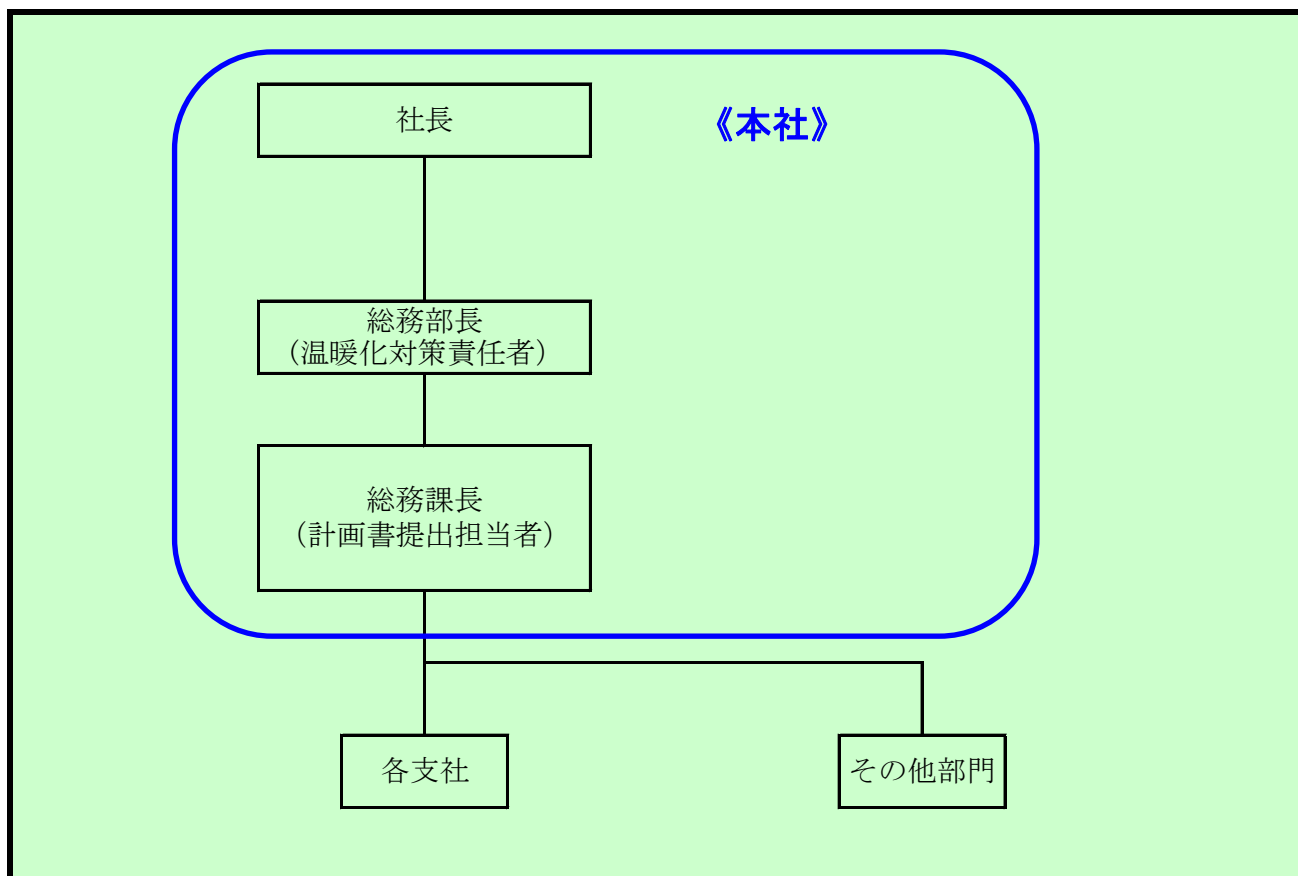
<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧場所：アルピコ交通 本社 閲覧時間：平日 8:45～17:30 担当部署：総務部 総務課 連絡先：0263-26-7170
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

低燃費基準達成車の導入を進め、適切な車両配置・整備管理を行う。
また、乗務員に対してのエコドライブ指導を推進し、事業用自動車（バス）の燃費向上を図る。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

特になし

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,676	t-CO ₂	売上高(換算)	504.20	単位	百万円
2019年度	調整後排出量	3,676	t-CO ₂	基準原単位	7.29	t-CO ₂ /	百万円
目標年度	目標排出量	3,603	t-CO ₂	目標原単位	7.14	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	目標削減率	1.98	%	目標削減率	2.00	%	
目標設定に関する説明	省エネ機器への更新等を順次実施することにより、電気使用量や重油使用量の削減を図り、目標達成を目指す。						
第一年度	排出量	3,149	t-CO ₂	売上高(換算)	372.80	単位	百万円
	削減率	14.33	%	原単位	8.45	t-CO ₂ /	百万円
2020年度	調整後排出量	3,149	t-CO ₂	原単位削減率	-15.92	%	
	削減率	14.33	%				
排出量等の増減理由	新型コロナウイルス蔓延に伴う鉄道等・バスの運休また施設休業に伴う影響						
第二年度	排出量	3,357	t-CO ₂	売上高(換算)	401.80	単位	百万円
	削減率	8.67	%	原単位	8.35	t-CO ₂ /	百万円
2021年度	調整後排出量	3,357	t-CO ₂	原単位削減率	-14.55	%	
	削減率	8.67	%				
排出量等の増減理由	・前年度、新型コロナウイルス蔓延に伴うバスの運休及び施設休業等からの回復基調に伴う増加はあるものの平常運行ではない為						
第三年度	排出量	4,685	t-CO ₂	売上高(換算)	384.79	単位	百万円
	削減率	-27.45	t-CO ₂	原単位	12.18	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	調整後排出量	4,685	t-CO ₂	原単位削減率	-67.08	%	
	削減率	-27.45	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	・コロナ禍で減便運行していた路線も、コロナ前とはいかないものの、多くの路線で復便し、また営業時間等短縮していた施設についても徐々に通常営業に戻している為増加となりました。ただし一部部門を子会社化したため、売り上げは減っております。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	18149	t-CO ₂	走行キロ	23.66	単位	百万キロ
2019年度				基準原単位	767.08	t-CO ₂ /	百万キロ
目標年度	目標排出量	17786	t-CO ₂	目標原単位	751.74	t-CO ₂ /	百万キロ
2022年度	目標削減率	2.00	%	目標削減率	2.00	%	
目標設定に関する説明	老朽化した車両を低燃費車両へ計画的に更新していくとともに、乗務員へのエコドライブ指導により燃費を改善し、目標達成を目指す。						
第一年度	排出量	9272	t-CO ₂	走行キロ	11.28	単位	百万キロ
				原単位	821.99	t-CO ₂ /	百万キロ
2020年度	削減率	48.91	%	原単位削減率	-7.16	%	
排出量等の増減理由	新型コロナウイルス蔓延に伴う鉄道等・バスの運休また施設休業に伴う影響						
第二年度	排出量	11221	t-CO ₂	走行キロ	13.60	単位	百万キロ
				原単位	825.07	t-CO ₂ /	百万キロ
2021年度	削減率	38.17	%	原単位削減率	-7.56	%	
排出量等の増減理由	・前年度、新型コロナウイルス蔓延に伴うバスの運休及び施設休業等からの回復基調に伴う増加はあるものの平常運行ではない為						
第三年度	排出量	12769	t-CO ₂	走行キロ	15.09	単位	百万キロ
				原単位	846.19	t-CO ₂ /	百万キロ
2022年度	削減率	29.64	%	原単位削減率	-10.32	%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由	・コロナ禍で減便運行していた路線も、コロナ前とはいかないものの、多くの路線で復便し、また営業時間等短縮していた施設についても徐々に通常営業に戻している為増加となりました。						

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握	一部実施	第二年度	一部実施	実施済	実施済	
	I-2	エコドライブの励行	一部実施	第二年度	一部実施	実施済	実施済	
III	III-1	次世代自動車の導入計画	一部実施	第三年度	一部実施	一部実施	実施済	
IV	IV-1	次世代自動車の導入	実施済	第二年度	実施済	実施済	実施済	

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	自動車		低燃費車の導入	2021	200	2021～2022	400
2	自動車		エコドライブの推進	2020～2022	10	2020～2022	30
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k1未満	10	3,676	10	3,149	10	3,357	9	4,685
合計	10	3,676	10	3,149	10	3,357	9	4,685

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0		
CH ₄	0	0		
N ₂ O	0	0		
HFC	0	0		
PFC	0	0		
SF ₆	0	0		
NF ₃	0	0		
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	229	229	245	254
その他 (ハイブリッド等)	36	36	27	24
合計	265	265	272	278
自動車総数	403	368	371	397
次世代車導入割合	65.8	72	73.3	70

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	県下一斉ノーマイカー通勤ウィークに併せ、従業員への啓蒙活動を行なっている。
自転車の利用促進	月に一度「ノーマイカー通勤デー」を設定し、促進を図っている。
来客者の交通対策	長野営業所の敷地構内に自社バス停を設置している。
物流の合理化	特になし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄